

# IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.9 暫定フィックス 8 Readme

日付:2004 年 6 月

名称:3.9.0-TEC-0008

コンポーネント:IBM® Tivoli Enterprise Console® バージョン 3.9.0

本書および本書で記述する製品を使用する前に、本書の最後の『特記事項』を必ずお読みください。

第 1 版 (2004 年 6 月)

本書は、IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3 リリース 9 (プロダクト番号 5698-TEC) に適用されます。

(C) Copyright International Business Machines Corporation 2004.

All rights reserved.

## 目次

### この暫定フィックスについて

- 暫定フィックスの内容
- この暫定フィックスに必要なフィックスパック
- サポートされているオペレーティング・システム
- この暫定フィックスの新機能
- 暫定フィックスに関する注意事項

### インストールと構成

- 前提条件
- インストール方法

### この暫定フィックスで修正された APAR

### 既知の制限事項

### 資料の更新

### 追加されたファイルと置換されたファイル

### カスタマー・サポートとの連絡

### 特記事項と商標

## この暫定フィックスについて

ここでは、この暫定フィックスの概要を示します。この暫定フィックスをインストールする前に、この文書全体をお読みください。この文書は、Adobe Acrobat の Portable Document Format (PDF) 形式でのみ提供しています。

## 暫定フィックスの内容

3.9.0-TEC-0008 暫定フィックスの内容は、3.9.0-TEC-0008.tar ファイルで提供しています。このファイルには、以下の内容が入っています。

- この Readme ファイル
- この暫定フィックスのイメージ・レポート
- この暫定フィックスの CD-ROM イメージ

## この暫定フィックスに必要なフィックスパック

この暫定フィックスの前提として、以下のフィックスパックをインストールする必要があります。

- 3.9.0-TEC-FP01

## サポートされているオペレーティング・システムとデータベース

ここでは、この暫定フィックスでサポートされているプラットフォームとデータベースの一覧を示します。

サポートされているオペレーティング・システムのバージョン	イベント・サーバー	ゲートウェイ	エンドポイント・アダプター	UI サーバー	イベント・コンソール
AIX® 5.1	X	X	X	X	X
AIX 5.1C (32 ビット)	X	X	X	X	X
AIX 5.2 (32 ビット、64 ビット)	X	X	X	X	X
Solaris <sup>1</sup> 8 (SPARC)	X	X	X	X	X
Solaris 9 (SPARC)	X	X	X	X	X
HP-UX 11 (SP1)	X	X	X	X	X
HP-UX 11i (32 ビット、64 ビット)	X	X	X	X	X
Windows® 2000 Professional (SP1/3)	X	X	X	X	X
Windows 2000 Server	X	X	X	X	X
Windows 2000 Advanced Server (SP3)	X	X	X	X	X
Windows XP Professional (SP1)			X		X
Windows 2003 Server	X	X	X	X	X
Red Hat Advanced Server 2.1 (IA32)	X	X	X	X	X
Red Hat Enterprise Linux 3	X	X	X <sup>3</sup>	X	X
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 7.0、7.1 (IA32)	X	X	X	X	X
SLES 7.0 (S/390® and zSeries® 7.0)	X	X	X	X	X
SLES 8 (IA32) (UnitedLinux 1 ベース)	X	X	X	X	X
Turbo Linux 7.0 (IA32)	X	X	X	X	X
OS/400® 5.1、5.2			X		
Novell NetWare 5.1、6.0			X		
Compaq Tru64 5.1b			X		
SGI IRIX 6.5.x			X		
SCO UnixWare 7.1.1、7.1.3			X		
Solaris 7、8 (IA32)			X		
Sequent® Dynix / PTX® 4.5.2			X		
Siemens Reliant UNIX 5.4.5			X		

注:

1. Solaris とは、Solaris オペレーティング環境のことであり、これ以降、単に Solaris と表記します。

2. このプラットフォーム・サポート表は、この暫定フィックスのリリース時に入手できた情報に基づいています。オペレーティング・システムのベンダーによるサポート終了に合わせて、この表は更新されています。最新のサポート情報については、IBM のオンライン・サポートを参照してください。

RDBMS ベンダー	バージョン
IBM DB2®	7.2 (FP7)、8.1 (FP2)
Oracle	9i、9i v2
Sybase	12、12.5
Microsoft SQL Server	7.0、2000
Informix®	9.3

### この暫定フィックスの新機能

ここでは、Tivoli Enterprise Console 製品に加えられた変更点について説明します。

この暫定フィックスに新しい機能はありません。この暫定フィックスは、イベントが閉じた時点で、IBM Tivoli Enterprise Console 製品がイベント・データベースを更新する方法を変更するためのものです。

### 暫定フィックスに関する注意事項

暫定フィックスをインストールする前に、以下の注意事項をお読みください。また、資料に加えられた変更点を確認するために、『資料の更新』の項もお読みください。

この暫定フィックスは、イベントが閉じた時点で、IBM Tivoli Enterprise Console のイベント・データベースの存続期間のフィールドを更新する方法を変更するためのものです。

### インストールと構成

ここでは、IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.9.0 の 3.9.0-TEC-0008 暫定フィックスのインストールについて説明します。

### 前提条件

1. IBM Tivoli Enterprise Console バージョン 3.9.0 フィックスパック 1 (3.9.0-TEC-FP01)

Tivoli Management Framework 製品の各バージョンに対する推奨パッチと、それぞれの具体的なインストール・シナリオに関する推奨パッチを以下の表にまとめます。

IBM Tivoli Management Framework のバージョン	パッチ
3.7.1	3.7.1-TMF-0098、3.7.1-TMF-0110、 3.7.1-TMF-0124、3.7.1-LCF-0013
4.1	4.1-TMF-0014、4.1-TMF-0034 4.1-TMF-0015 (Linux PPC サポート)
4.1.1	4.1.1-TMF-0005 (Red Hat Linux Advanced Server 2.1 を インストールしたシステムに IBM Tivoli Enterprise Console をインストールする場合には必須)

インストール・シナリオ	パッチ
単一ポートでの一括データ転送 (BDT) を利用する場合	3.7.1-TMF-0097
OS/2 TME® アダプターをインストールする場合	3.7.1-TMF-0099
Software Installation Service (SIS) バージョン 3.7.1 でインストールする場合	3.7.1-SIS-0005
Software Installation Service (SIS) バージョン 4.1 でインストールする場合	4.1-SISCLNT-0002、4.1-SISDEPOT-0002

## インストール方法

ここでは、この暫定フィックスをインストールする方法について説明します。

### 1. 暫定フィックスを解凍します。

UNIX® システムでは、以下のコマンドを使用して内容を一時ディレクトリーに解凍します。この例では、変数 PATCH がその一時ディレクトリーを指すと想定します。

```
cd $PATCH
tar -xvf 3.9.0-TEC-0008.tar
```

Windows オペレーティング・システムでは、以下のコマンドを使用して内容を一時ディレクトリーに解凍します。この例では、変数 %PATCH% がそのディレクトリーを指し、X が %PATCH% の存在するドライブ名であると想定します。

```
%SystemRoot%\system32\drivers\etc\tivoli\setup_env.cmd
X:
> cd %PATCH%
> tar -xvf 3.9.0-TEC-0008.tar
```

注:Windows システムに TAR イメージを抽出する場合、TAR ユーティリティの実行可能ファイルは、Tivoli bin/w32-ix86/tools/tar.exe インストール・ディレクトリーにあります。

### 2. ここに示すのは、Software Installation Service (SIS) を使用する場合のインストール方法です。SIS を使用しない場合は、手順 3 に進んでください。

Tivoli Software がサポートしているほとんどのハードウェア・プラットフォームでは、SIS を使用して Tivoli Software 製品をインストールできますが、一部のハードウェア・プラットフォームでは SIS を実行できません。SIS を実行できるプラットフォームの一覧については、「Tivoli Enterprise Console インストール・ガイド」を参照してください。SIS 関連のパッチについては、この文書の『前提条件』の項を参照してください。この暫定フィックスをインストールするには、install\_product と super の権限役割が必要です。

- a) Tivoli デスクトップのプルダウン・メニューから、「デスクトップ」、「インストール」、「**Software Installation Service**」の順にクリックします。
  - b) 「インストール・パスワードの取得」ウィンドウで、インストール用のパスワードを入力します。
  - c) Tivoli ロゴが表示されているウィンドウで、「インストール」をクリックします。
  - d) インストール・ワークシート・ウィンドウで、「**プロダクトの選択**」をクリックします。
  - e) 「プロダクトの選択」ウィンドウで、「**プロダクトのインポート**」をクリックします。
  - f) ファイル・ブラウザーで 3.9.0-TEC-0008 のメディアを見つけて、PATCHES.LST ファイルをダブルクリックします。
  - g) 「プロダクトのインポート」ウィンドウで、3.9.0-TEC-0008 を選択して、「**インポート**」をクリックします。
  - h) 進行状況を示すウィンドウで、ファイルのインポートが完了してから「**了解**」をクリックします。
  - i) 「プロダクトの選択」ウィンドウで、3.9.0-TEC-0008 を選択して、「**了解**」をクリックします。
  - j) インストール・ワークシート・ウィンドウで、「**マシンの選択**」をクリックします。
  - k) 3.9.0-TEC-0008 のインストール先のマシンを選択して、「**了解**」をクリックします。
  - l) インストール・ワークシート・ウィンドウで、該当するセルを選択します。
- 注:3.9.0-TEC-0008 暫定フィックスのインストール先のマシンのセルには X が表示されています。
- m) 「**インストール**」をクリックします。

- n) インストール・メカニズムを選択するウィンドウで、使用するインストール・アルゴリズムを選択して、「**了解**」をクリックします。インストール・ワークシート・ウィンドウでの設定内容に基づいて、SIS がインストールを実行します。
  - o) 手順 4 に進んで、インストールを完了します。
3. 従来の Tivoli インストール方式で暫定フィックスをインストールする場合は、以下の手順を実行します。
- 注:**この暫定フィックスを正常にインストールするには、install\_product と super の権限役割が必要です。
- a) Tivoli デスクトップのメニュー・バーから、「**デスクトップ**」、「**インストール**」、「**パッチのインストール**」の順にクリックして「パッチのインストール」ウィンドウを表示します。
  - b) 「パッチのインストール」ウィンドウで、「**メディアの選択**」をクリックして「ファイル・ブラウザ」ウィンドウを表示します。
  - c) 「ファイル・ブラウザ」ウィンドウの「パス名」フィールドに、フィックスパックの入っているディレクトリーのパス (\$PATCH) を入力します。
  - d) 「**メディアの設定 & クローズ**」をクリックして「パッチのインストール」ウィンドウに戻ります。
  - e) 「パッチのインストール」ウィンドウで、パッチの名前をクリックして選択します。
  - f) フィックスパックのインストール先のクライアントを選択します。通常は、Tivoli サーバーと各 Tivoli クライアントにフィックスパックをインストールする必要があります。
  - g) 「**インストール**」をクリックします。
4. 暫定フィックスのインストールが完了します。イベント・サーバーを再起動します。

## この暫定フィックスで修正された APAR と問題点

ここでは、3.9.0-TEC-0008 暫定フィックスで修正された APAR の説明と解決内容を示します。

問題点: 169591

症状: イベントが閉じた時点で、Tivoli Enterprise Console イベント・データベースの存続期間のスロットが設定されません。この問題は、イベントが閉じて、ルール・キャッシュから消えたときに発生します。イベントが閉じた時点で、存続期間のスロットの値は 0 になります。イベントを受け取ってからイベントが閉じるまでの時間が 1 秒を超える場合、この存続期間の値は不正確になります。

解決内容: イベントが閉じてルール・キャッシュから消えた時点で、イベント・サーバーは、閉じたイベントの date\_reception スロットの値を現在時刻から差し引いてイベントの存続期間を計算し、その存続期間のスロットを更新します。この値はイベント・サーバー内で更新され、イベントが開いていた時間が 1 秒を超える場合は、存続期間のスロットの値が 0 ではなくなります。

## 既知の制限事項

アクティブなルール・ベース内で set\_event\_status 述部を使用してイベントを閉じると、存続期間の値は 0 に設定されます。この問題を回避するには、その代わりに change\_event\_status 述部を使用してください。詳細については、「IBM Tivoli Enterprise Console ルール開発者ガイド」を参照してください。

## 資料の更新

資料の更新はありません。

## この暫定フィックスで追加されたファイルと置換されたファイル

TME/TEC/tec\_dispatch.exe  
TME/TEC/tec\_dispatch

## カスタマー・サポートとの連絡

資料およびカスタマー・サポートについては営業担当員にお問い合わせください。

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について 実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032  
IBM Corporation  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

使用許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3-2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

**以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。**

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM はまたこれらの情報に掲載されている製品やプログラムを何時でも、予告なしに改善または変更することがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
2Z4A/101  
11400 Burnet Road  
Austin, TX 78758 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

## 商標

IBM、IBM ロゴ、AIX、DB2、Informix、OS/2、OS/400、Tivoli、Tivoli ロゴ、Tivoli Enterprise Console、および TME は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。